

トンネル建設工事における 労働安全衛生の課題と今後について

建設安全研究グループ 上席研究員 吉川 直孝

近年、トンネル建設工事における肌落ち（落盤）災害、道路陥没事故、シールドトンネル建設工事における崩壊水没災害等、ひとたび発生すると、重大な被害を及ぼす災害が頻発している。

これらの災害事例を機械分野で構築されつつある安全学的な見地から分析すると、建設工事を担当する施工者だけでなく、設計者及び発注者も含めた労働安全衛生への配慮の必要性が明らかとなる。

本講演では、機械分野の安全学を建設工事業にも適用し、現在のトンネル建設工事における労働安全衛生の課題と、今後どのように課題を解決すべきかについて検討する。